

小正月伝統行事「団子さし」

令和3年1月10日



小正月伝統行事「団子さし」

ミズキの木にお団子をさし、おめでたい飾りつけをします。家内安全や五穀豊穡を願い、昔は家族で小正月の日（正月の終わり・松の明け）に作っていたそうです。木から落ちたお団子は、あられにしたり、焼いてぜんざいにしたりして、食べていたそうです。

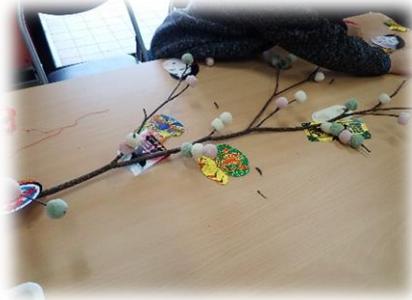
「古民家の小正月飾り」今年も、職員で作成しました。立派なミズキの木を地域の方より提供していただきました。



お好みの枝ぶりのミズキを選び、芽を取ります。その後、芽を取った部分に「白・緑・ピンク」の団子をさします



色のレイアウトを考えながら、皆さん楽しそうに団子をさしていました。最後に福を呼ぶ飾りをつけて完成！



【一口メモ】ミズキの木は枝先が赤く、燃えにくい木で、昔からお祝い事に使用されている木です。地方によっては、ミズキではなく、柳の枝を使うこともあります。



小正月という年中行事を是非、みなさんも覚えて体験してみてください☆

